

## 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 木屋瀬小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <b>V</b> （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	5年2クラス（63名）、6年2クラス（81名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習【キャリア教育】）</p> <p>② 行事名（アスリートの生き方に学ぼう）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	現役の競輪選手の生き方や活動を知ることを通して、スポーツの楽しさや将来の夢について考える。
5 取組内容	<p>○ 現役の競輪選手、北九州市出身の別所英幸さんに自らの小学校時代や中学校・高校生活、そして競輪学校や選手になってからの話を聞く。</p> <p>○ 夢に向かって</p> <p>小学校時代は父親が厳しく、自由なことをさせてもらえなかった。しかし、そのおかげで、難関の競輪学校に入ることができた。その中で、逃げないで、ひたすら努力することS級の選手になることができた。</p> <p>○ 競輪学校の様子や大会での 様子の紹介</p> <p>実際の自転車を持ち込み、乗り方や自転車の説明、試合の様子を聞いた。</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競輪以外の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1位になったら、幼稚園の園児に本をプレゼントしている。</li> <li>・ 市場で、カフェ・英会話教室等の経営のためのオフィスを提供するという実業家としての姿がある。市内の若い実業家のオフィスが無いということで、格安で場所を提供している。</li> </ul> </li> <li>○ 夢について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分のため」より「人のため」と考えたほうが力が湧いてくる。そのための取組を続けていきたい。</li> </ul> </li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別所選手は、競輪学校や競輪レースについての話は写真や動画を通して話をされた。子どもたちは実際のレースの様子を興味深く見ていた。また、競輪用の自転車のフレーム・ハンドル・タイヤ等を触ることができ、「すごい!」「軽い!」と声をあげていた。講話と体験を通して、競輪というスポーツ選手の力強さ等を実感させることができた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの心に残った言葉が「とにかくチャレンジすること!」という言葉でした。その一言で、「いろいろなことにチャレンジしてみよう」と思いをもたせることができた。また、別所選手自らの体験から、「自分のため」より「人のため」に頑張る姿を知ることによって夢をもつことの大切さについて考えることができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に、オリンピック・パラリンピックに興味をもたせるために映像を見せたり、AIM・POSSIBLEのパネルを掲示したりするなど環境づくりに配慮した。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現役のアスリートであるため、年度当初、年間の教育課程に計画的に位置づけることが難しい。</li> <li>○ 対象学年が高学年中心になってしまう。中学年対象の体験活動を考えていく必要がある。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピックの出場選手との交流をもたせたい。</p>